

世界遺産登録への道

Vol.18

世界遺産登録活動への「わたしの思い」

今月号からは「平泉文化遺産」の世界遺産登録に向けた動きとともに、市民の皆さんや活動に携わっている人の声を紹介します。今回は、世界遺産ガイドの会員として、活躍している後藤和夫さんにお話を伺いました。



「実は自分は凄いとこに住んでるんじゃないか」と強く感じるようになります。市町村合併の効果で、前沢や衣川といった他地域への親近感が増しましたが、歴史を学んだことでその思いがさらに強くなりました。特に衣川は知れば知るほど、素晴らしい地域です。松尾芭蕉「この地域が歌に詠まれていた数から考えても、日本有数の場所だと思えます。遠くの観光地を訪ねることは否定しませんが、地元にも良いところがたくさんあるので、まずは身近なところからぜひ知ってほしいですね。」

■活動のきっかけは「実はこれまで歴史が大嫌いでして：きっかけとしてはいろいろあったのですが、平成18年に市が開催した世界遺産ガイド養成講座を受講したことが始まりです。」

「とりあえず」という気持ちでしたが、すぐに深みにはまってしまうました。特に「平泉」前史の歴史を知ったことは、まさに「晴天の霹靂」という感じでした。郷土の誇り、郷土愛を刺激されたのもそのころですが、

Interview

後藤和夫さん(56)
=水沢区上姉体三丁目=

■3年後の登録に向けて「今回の登録延期は前向きにとらえています。これまでの取り組みは、多少浮き足だったところがあったと思いますが、準備を万端にしています。」

■今後の抱負「これからの冬期間に、いろいろな施設を回っての「出張ガイド」を提案してみたいと思います。わたしの思いは、世界遺産登録活動を通じて、より多くの人に「郷土」を知ってもらいたいのです。わたし自身が、大嫌いだった歴史が大好きになったように。出張ガイドを通して、たくさんの人にきっかけの橋渡しができればと思っています。」

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

無料をうたう廃品回収業者とのトラブル
(相談者 50代女性)

Q このような廃品回収業者とのトラブルがここ数年、全国的に増加傾向にあります。「無料回収」と言いつつ粗大ごみはありませんか」とトラックでアナウンスしていた業者がいたので古いテレビや自転車、カーペットなどの回収を依頼しました。次々とトラックに積んだ後に業者が電卓を取り出したので、驚いて「無料じゃなかったの」と聞くと、業者は「テレビの回収費用は2000円かかるし、すべてが無料ではない」と威圧的に言います。リサイクル料金など全部で2万5000円を請求され、とても怖かったので内訳も聞けず支払いしました。「最初は無料と言っていたよね」と言っても、「すべてが無料なわけではない」とにらむように言うので、あきらめるしかありませんでした。

A 注意が必要です。(本庁市民課総合相談室)

■「地区のルール」粗大ごみや不用品の処分は、決められたルールに従う。粗大ごみに出せない家電製品やパソコンなど処分方法が分からない物は、市の廃棄物担当課に確認する。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルや不法投棄の原因になりやすいので注意が必要です。(本庁市民課総合相談室)

■「事前に確認」処分を依頼する場合は、事前にリサイクル料、収集・運搬の許可を受けた事業者かを確認。支払料金がいくらになるかを確かめてから判断する。

奥州大使の落語家、桂花丸さんと三遊亭楽麻呂さんが、「岩手・宮城内陸地震」へこたれません！奥州市の横断幕とのぼり旗のもとで、落語家らしい笑いを誘うセリフを交え、チラシや米を配っていました。

奥州市長 相原正明

8月20日、市と農協、商工会議所、商工会、観光協会の関係者が協力して、「震災復興奥州キャラバン隊」を組織(18人)し、首都圏で、終日ピピール活動をしました。6月14日の岩手・宮城内陸地震の復興は、着実に進んでおりますが、風評被害による観光客の減少で、観光産業を是しめ、地域経済に深刻な影響を与え始めています。これを打開するために、やれることは何でもやるうとの意気込みのもと行動です。最初の日本橋高島屋には、首都圏ふるさと団体の皆さんが、早朝にもかかわらず大勢駆け付け、お手伝いいただきました。スーツ姿のサラリーマンも足を止めて、岩手ふるさと米や江刺金札米を手にし、チラシを眺めていました。後日、埼玉県の78歳の女性から「胸を打たれました。頑張ってください。応援します」との手紙も寄せられました。へこたれません！奥州市。

お元気レシピ

簡単朝食メニュー⑥
五目きんぴら



- 材料(4人分)
- ゴボウ.....100g
 - ニンジン.....40g
 - ピーマン.....1個
 - 油揚げ.....1枚
 - 系こんにゃく.....40g
 - 白ごま.....適量
 - しょうゆ.....小さじ2杯半
 - 酒・みりん.....各小さじ1
 - 砂糖・油.....各少々
 - だし汁.....適量

作り方

- 油を鍋に入れ熱し、千切りにしたゴボウ、ニンジン、系こんにゃく、油揚げの順にいためる
- 調味料とだし汁を加え煮る
- 野菜が柔らかくなったらピーマンを加え、サツといためたら出来上がり

わたしたちが作りました



真城学校給食センター
給食では、大豆やひき肉を入れたり、カレー味にしたりとさらにアレンジ。当センターのブログもぜひご覧ください。毎日の献立が分かります。(http://blog.goo.ne.jp/sinjiyou_2007)

奥州万年の森植樹祭 参加者 募集

【横浜国立大学名誉教授・宮脇昭氏講演会】

- 日時 9月22日(日)午後6時半～8時
- 場所 前沢総合支所4階大会議室
- 講師 宮脇昭氏(横浜国立大学名誉教授・財団法人地球環境戦略研究機関国際生態学センター長)

【第1回奥州万年の森植樹祭】

- 日時 9月23日(日)午前9時半～午後0時半 ※雨天決行
- 場所 奥州万年の森公園(前沢区字石田)
- 定員 約300人(先着順)
- 持ち物 作業しやすい服装で昼食を忘れずに
- その他 ▷前沢ふれあいセンター発の無料シャトルバスを運行します(事前申し込みが必要) ▷昼食になめこ汁を提供します

◆問い合わせ・申込先=前沢総合支所総務企画課(内線323)

前沢区石田地内に本年度から整備をする森林公園「奥州万年の森」。今回、左記のとおり第1回奥州万年の森植樹祭を開催します。当日は国内外で森林づくりプロジェクトに参画している、宮脇昭氏指導のもと、約4500本の苗木を約1.8畝の敷地に皆さんとともに植樹を行います。1人でも多くの参加をお待ちしています。

OSHU MANNEN no MORI

●奥州万年の森
「市民とともにつくろう 緑あふれる公園 奥州市から世界へ」を目指し、植林などの体験や生きた環境学習の場として、市が本年度から整備を進める体験型公園

奥州万年の森

市民とともにつくろう 緑あふれる公園 奥州市から世界へ